

東京大学柏キャンパス一般公開 2014

スーパーコンピューティング部門

柏キャンパスでは10月24日(金)、25日(土)の2日間、「東京大学柏キャンパス一般公開2014(探究心と好奇心〜もっと身近に感じる科学〜)」が開催され、情報基盤センターとしては今年で3回目の参加となりました。テーマは「スパコンで科学の未来を拓く」で、計算機や科学への理解や関心を高めってもらうために、恒例のスーパーコンピュータ「Oakleaf-FX」見学ガイドツアー、三次元可視化システム体験、ポスター展示およびビデオ上映「スーパーコンピューティングへの招待」を行いました。中学生・高校生のグループや家族連れ、ご高齢の方から大学や企業で計算機や設備に詳しい方まで、幅広く大勢の方にご来場頂きまして、説明員を増員して対応することとなりました。皆、熱心に耳を傾けており、計算能力やプロセッサの数、消費電力などの話になると感嘆の声も上がっていました。実際に見て、聞いて、体験することでスパコンを身近に感じてもらえたようです。

今年は2日間とも晴天に恵まれ、スーパーコンピュータ見学者440名(1日目129名、2日目311名)、うちガイドツアー参加者244名(1日目60名、2日目184名)、三次元可視化システム体験の参加者113名(1日目44名、2日目69名)と盛況のうちに終わることができました。



スーパーコンピュータ「Oakleaf-FX」見学の様子
(説明員：中島教授、片桐准教授、大島助教、實本助教、埴特任准教授)



三次元可視化システム体験の様子 (説明員：松本特任講師、山本技術職員)